

記 入 の し か た

この希望届出書は、鑑定評価員等（鑑定評価員、統括鑑定評価員及び副統括鑑定評価員をいいます。）及び土地評価精通者となる希望を申し出る不動産鑑定業者ごとに作成してください（本社、支社の別に作成してください。）。

（注） 1 不動産鑑定士（不動産鑑定士補を含む。以下同じ。）以外の者が土地評価精通者に選任されることを希望する場合には、本様式を使用せず、「土地評価精通者の希望届出書（不動産鑑定士以外用）」を使用してください。

2 不動産鑑定業者に従事する不動産鑑定士が、その不動産鑑定業者の業務としてではなく、その不動産鑑定士（個人）の業務として土地評価精通者の業務に従事することを希望する場合は、「1 不動産鑑定業者に関する事項」欄には記入せず、「2 不動産鑑定士に関する事項」欄のみ記入してください。

① 「不動産鑑定業者の名称等」欄

・ 「代表者の役職名」欄

「代表取締役」、「代表理事」等の代表者の役職名を記入してください。

⑤ 「鑑定評価員等・土地評価精通者の希望」欄

両方へ選任されることを希望する場合は、両方にチェックしてください。

⑥ 「住所」欄、⑪「電話番号」欄及び⑫「メールアドレス」欄

⑤において、不動産鑑定業者の業務として希望するか個人として希望するかにかかわらず、記入してください。

⑭ 「ZIP（AES256）形式への対応の可否」欄

精通者意見価格調書は、メールにより送受信を行っており、税務署から送信する際は ZIP（AES256）形式による暗号化を行っています。

この形式により送付されるファイルは通常の「.ZIP ファイル」より暗号強度が高いため、解凍するためには解凍ソフトが ZIP（AES256）形式に対応している必要があります。当該形式に対応している場合は「可」、対応していない場合は「否」をチェックしてください。

（注）解凍ソフトとしては、例えば「7-zip」等があります（当該ソフトの利用を推奨するものではありません。）。

⑮ 「直近3年間の不動産鑑定業務に係る職歴及び実績」欄

・ 「職歴」欄

直近3年間（令和4年1月1日から令和6年12月31日まで。以下同じ。）の不動産鑑定業務に係る職歴を記入してください。

・ 「件数（一般の鑑定評価）」欄

直近3年間を対象として、一般の鑑定評価（大規模工場用地及びゴルフ場用地等の鑑定評価を除く。）を行った件数を記入してください。

・ 「件数（大規模工場用地の鑑定評価）」欄

直近3年間を対象として、当該希望届出書を提出する国税局管内において大規模工場用地（工場、研究開発施設等の敷地の用に供されている宅地及びこれら宅地に隣接する駐車場、福利厚生施設等の用に供されている一団の土地で、その地積が5万平方メートル以上のもの）の鑑定評価を行った件数を記入してください。

・ 「件数（ゴルフ場用地等の鑑定評価）」欄

直近3年間を対象として、当該希望届出書を提出する国税局管内においてゴルフ場用地等（ゴルフ場、遊園地、競馬場その他これらに類似する施設の用に供されている土地）の鑑定評価を行った件数を記入してください。

（注）鑑定評価を行った件数には、公的土地評価に係る鑑定評価の件数を含みます。

・ 「その他の実績（地価公示担当の有無、都道府県地価調査担当の有無及び固定資産税鑑定担当の有無）」欄

その担当の有無をチェックしてください。また、「有」にチェックした場合には、所属分科会名及び担当市区町村名を記入するとともに、代表幹事等を担当している場合は該当する項目をチェックしてください。

鑑定評価員等・土地評価精通者の希望届出書
(不動産鑑定士用)

2 枚のうち 1 枚目

令和 7 年 7 月 10 日
東京 国税局支出負担行為担当官 殿
沖縄国税事務所支出負担行為担当官 殿

次の場合に記載します。
①鑑定評価員等の業務に従事することを希望する場合
②法人又は個人事業者の業務として、土地評価精通者の業務に従事することを希望する場合

住 所
又は
所在地
東京都千代田区霞が関 3－1－1

氏 名
又は
名 称
株式会社国税不動産鑑定士事務所

代表者
氏名
国税 花子

度、次の不動産鑑定士（不動産鑑定士補を含む）が、鑑定評価員等の業務、
土地評価精通者の業務に従事することを希望します。

1 不動産鑑定業者に関する事項			
① 不動産鑑定業者の名称等			
所在地	(〒 100 - 8979) 東京都千代田区霞が関 3－1－1		
(フリガナ) 名称	(カブシキガイシャコクセイイブトウサンカンテイシジムシヨ) 株式会社国税不動産鑑定士事務所		
代表者氏名	国税 花子	代表者の 役職名	代表取締役
②	国土交通大臣登録 (3) 第 123 号	③ 電話番号	**-*****-****
登録番号	東京都 知事登録 (1) 第 456 号	④ メールアドレス	***@****.ne.jp
2 不動産鑑定士に関する事項			
次葉のとおり。			

注 鑑定評価員等を希望する不動産鑑定士等が複数名いる場合は、次葉を複数枚使用してください。

記載例（次葉）

次葉

鑑定評価員等・土地評価精通者の希望届出書（不動産鑑定士用）

2 枚のうち 2 枚目

⑤ 希望する業務	<input checked="" type="checkbox"/> 鑑定評価員等 (不動産鑑定業者の業務として)	<input checked="" type="checkbox"/> 土地評価精通者 (不動産鑑定業者の業務として)	<input type="checkbox"/> 土地評価精通者 (個人として)	
⑥ 住所	(〒 104 - 8449) 東京都中央区築地 5 - 3 - 1		⑦ <input checked="" type="checkbox"/> 不動産鑑定士 <input type="checkbox"/> 不動産鑑定士補	
⑧ 氏名	(フリガナ) (コバエイ ハコ) 国税 花子	⑨ 生年月日	昭和 50 年 1 月 1 日 第 1234 号	
⑪ 電話番号	***-****-****		⑫ メールアドレス ***@****.ne.jp	
⑬ 精通している地域等	市区町村名 又は 税務署名	東京都千代田区 武蔵野市	東京都中央区 府中市 三鷹市 国立市	
	種別	<input checked="" type="checkbox"/> 宅地	<input checked="" type="checkbox"/> 農地 <input checked="" type="checkbox"/> 山林	
⑮ 直近3年間の不動産鑑定業務に係る職歴及び実績	<div> <div> <div>在職期間</div> <div> <div>令和 5 年 1 月 1 日 ~ 令和 6 年 12 月 31 日</div> <div>令和 2 年 9 月 1 日 ~ 令和 4 年 12 月 31 日</div> <div>上記のうち病気・出産等により 従事できなかった期間</div> </div> <div> <div>事務所の名称</div> <div>株式会社国税不動産鑑定士事務所</div> <div>株式会社税務不動産鑑定所</div> <div>令和3年10月1日~令和4年7月31日 出産等のため</div> </div> </div> </div>			
件数	区分	一般の 鑑定評価	大規模工場用地の 鑑定評価	ゴルフ場用地等の 鑑定評価
	令和 6 年 1 月 1 日 ~ 令和 6 年 12 月 31 日	10 件	3 件	3 件
	令和 5 年 1 月 1 日 ~ 令和 5 年 12 月 31 日	12 件	2 件	1 件
	令和 3 年 3 月 1 日 ~ 令和 4 年 12 月 31 日	6 件	0 件	0 件
その他の実績	地価公示担当の有無	都道府県地価調査担当の有無	固定資産税鑑定担当の有無	
	令和 7 年 有	令和 7 年 有	令和 6 年度評価替	
	所属分科会名	担当市区町村	所属分科会名	担当市区町村
	第5分科会	東京都千代田区	第3分科会	三鷹市
	<input checked="" type="checkbox"/> 代表幹事	<input checked="" type="checkbox"/> 分科会幹事	<input checked="" type="checkbox"/> 代表幹事	<input checked="" type="checkbox"/> 分科会幹事
	府中市	府中市	府中市	府中市
	令和 6 年 有	令和 6 年 有	国立市	
	所属分科会名	担当市区町村	所属分科会名	担当市区町村
第8分科会	東京都中央区	第2分科会	武蔵野市	
<input checked="" type="checkbox"/> 代表幹事	<input checked="" type="checkbox"/> 分科会幹事	<input checked="" type="checkbox"/> 代表幹事	<input checked="" type="checkbox"/> 分科会幹事	
<input checked="" type="checkbox"/> 代表鑑定評価員	市区町村幹事			

希望する不動産鑑定士が複数名いる場合には、「届出書次葉」をコピーして、ご使用ください。
この場合のシート名は、「届出書次葉」「届出書次葉(2)」…「届出書次葉(鑑定士名)」など、シート名に「次葉」が含まれるようにしてください。

⑬の「精通している地域等」の「市区町村名又は税務署名」欄には、希望する地域等を記載します。
ただし、依頼する地域等は、必ずしも希望する地域等とならない場合があります。

直近3年間の不動産鑑定業務に係る職歴を記載します。
なお、記載例の場合には、出産等により従事できなかった期間が10か月間あるので、その10か月間を除いて通算3年半となるよう、
3年半+10か月間=4年4か月間
の職歴を記載します。

直近3年間の不動産鑑定実績を記載します。
なお、記載例の場合には、出産等により従事できなかった期間が10か月間あるので、その10か月間を除いて通算1年間となるよう、
1年間+10か月間=1年10か月間
の実績を記載します。

全ての記載を終え、記載内容に相違ないことを確認されましたら、チェックボックスにチェックを付してください。

- ☒ 以上、上記記載の内容に相違ありません。
- 注1 ⑬の「精通している地域等」の「市区町村名又は税務署名」欄は、希望する地域を複数記入することができます。記入欄が不足する場合は適宜の用紙を使用してください。なお、鑑定評価及び意見価格の提出を依頼する地域等は、必ずしも希望の地域とならない場合があります。
- 2 ⑮の「職歴」欄は、直近3年間の不動産鑑定業務に係る職歴を記載してください。
なお、病気・出産等により不動産鑑定業に従事できなかった期間がある場合には、出産等により従事できなかった期間を除いた通算3年半の職歴を記載してください。
- 3 ⑯の「件数」欄は、直近3年間の鑑定評価実績を記載してください。
なお、病気・出産等により不動産鑑定業に従事できなかった期間がある場合には、その従事できなかった期間を除く直近の通算3年間で各年（12か月）に区切り、その期間の実績を記載してください。